

# 甲賀市の財政状況

## 全項目で健全化基準をクリア

平成28年度決算に基づく甲賀市の健全化判断比率および資金不足比率を公表します。算定の結果、これまでの市債の発行抑制や繰上償還の実施により実質公債費比率は0.4ポイント改善しましたが、将来負担比率は新庁舎整備事業にかかる市債の発行が増加したことにより、8.1ポイントの増加に転じました。

しかし、自主的な改善努力が求められる早期健全化基準とは大きく差があり、依然として健全な状態を保っていません。今後も限られた財源を効果的に活用するとともに、一層の財政の健全化に向けた取り組みを進めていきます。

健全度は？

## 資金不足比率

◆全ての公営企業会計(病院・水道・診療所・介護老人保健施設・下水道)で資金不足は生じていません。

経営健全化基準：20%

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合を示すものです。

## 健全化判断比率

指標	平成28年度	平成27年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (一般会計などの赤字の割合)	赤字なし 健全	赤字なし	12.13%	20%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字の割合)	赤字なし 健全	赤字なし	17.13%	30%
実質公債費比率 (1年間の収入に対して返済する借金が占める割合)	10.2% 改善 昨年より0.4%	10.6%	25%	35%
将来負担比率 (財政規模に対して将来に負担が見込まれる負債の割合)	68.8% 増加 昨年より8.1%	60.7%	350%	-

問合せ  
TEL 69-21224  
FAX 63-4561

## 決算審査報告

監査委員 山本 哲雄  
白坂 萬里子



平成28年度甲賀市一般会計および各特別会計決算、基金の運用状況、公営企業会計決算、財政健全化および経営健全化判断比率について、審査に付された各会計の決算書および付属書類等を審査したところ、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ計数も正確で、適正に執行されているものと認めました。

一般会計・特別会計は黒字を維持し、公営企業会計については病院事業会計と介護老

問合せ  
TEL 69-22261  
FAX 63-4577

人保健施設事業会計に純損失があるものの、その他の会計では純利益を計上しています。財政健全化判断比率および各企業会計の資金不足比率も良好な状態にあると認められます。

財政運営にあたっては、財源の確保や収納向上対策等による収入未済額の更なる縮減に最大限努める一方、各施策や事業の緊急性、有効性等を見極めたうえで、限られた財源の効果的な経費支出を図ることにより、「最少の経費で最大の効果を上げる」ことが求められます。

今後、国内外の大きな時代の流れを的確に読み取り、組織の現状分析・改善を継続的に展開しながら、市民福祉の充実と向上を最優先して、「住み続けたいまち」「選ばれたいまち」にふさわしい甲賀市づくりに努められることを切に期待するものであります。

※8月8日付市長へ決算審査報告

# 平成28年度の主な事業

ここでは、平成28年度に実施した事業の成果の一部を紹介します。

平成28年度に実施した主な事業の詳細については、市ホームページ「甲賀市の決算」に掲載しています。

忍者活用観光戦略事業  
2,662万円



貴生川駅舎の忍者ラッピング

甲賀流忍者のPRとして、観光情報誌の作成やテレビ番組の活用等メディアを意識した観光施策を展開しました。

また、貴生川駅舎やコミュニティバスに忍者のラッピングを施すことにより甲賀流忍者の知名度向上に努めました。

第3子保育料無料化事業  
1,578万円



▲保育園で工作する園児

子育て世帯(所得制限有)に対する経済的負担の軽減対策として、保育園等に通園している第3子以降の保育料の無料化に取り組み、少子化対策を推進しました。

コンビニ交付サービス導入事業  
409万円



▲コンビニの多機能端末機による証明書の発行

マイナンバーカードや住民基本台帳カードを利用して多機能端末機から住民票の写し等の証明書が取得できるサービスを導入し、6時30分から23時まで全国の主要なコンビニで証明書の取得が可能となりました。

学習支援事業  
1,040万円



▲学習支援事業「学んでいこうカ」

支援が必要な家庭の子どもたちが、生きる力や規則正しい生活習慣を身につけるため、学習支援事業「学んでいこうカ」の拡充を図り、「水口教室」に加え、「甲南教室」「信楽教室」の2教室を増設し3カ所で開催しました。

新庁舎整備事業

43億2,200万円  
(68億2,337万円)  
※( )内は総事業費



▲新庁舎本館

市民サービスの一層の向上や安心・安全のための防災機能の強化、組織運営の効率化などを図るため、新庁舎の整備を行い、本年5月のオープンにつなげました。

子育て世代包括支援センター整備事業

2億1,925万円



▲甲賀市子育て世代包括支援センター「ここも〜り」

産前・産後・育児に関する一連のサポートを行うため、鹿深夢の森内にある甲賀創健館を改修し、雨の日でも利用できる多目的広場を備えた子育て世代包括支援センター「ここも〜り」を整備しました。

地場産業振興事業

1,786万円



▲信楽まちなか芸術祭

信楽のもつ独特の景観や文化を生かし、多くの観光客を魅了できるイベントとして信楽ファン獲得と地場産業の振興につなげる「第3回信楽まちなか芸術祭」を開催しました。